第２回 南砺市食育推進計画策定委員会 会議録

１．開催日時：平成２６年１０月２３日（木）午後２時
２．開催場所：城端庁舎２階２０３会議室
３．出席者：委員１３名
　　高田委員長、大江副委員長、河合委員、宮脇委員、横川委員、永森委員、松川委員、渡辺委員、定司委員、野原委員、丸山委員、寺田委員、原田委員
　　事務局（農政課）３名
　　芝井課長、宮下主幹、遊部主任
　　委託業者２名（ＮＡＯコーポレーション）
４．傍聴人数２名

次第
１．開会
２．あいさつ（委員長）
３．協議事項
（１）計画書素案について
（２）今後のスケジュールについて
（３）その他
４．閉会

１．開会午後２時
　只今から第２回食育推進計画策定委員会を始めます。委員長からあいさつをしていただきます。

２．あいさつ（委員長）
　第２回食育推進策定委員会を開始します。第１回食育推進策定委員会を受けて、幹事会を開催し、そして今日第２回委員会を開催します。第１回目の後に出していただいた意見と幹事会の意見を取り入れ、修正しました。本日は、いろいろな視点からご意見を賜りたいと思いますので、よろしくお願います。

〔事務局〕
　　これ以降については、委員長より司会進行をお願いいたします。

３．協議事項
（１）計画書素案について
〔委員長〕
　協議に入ります。

〔委員〕
　以前委員より出した、意見書を公開をしていただきたい。

〔事務局〕
　今回の会議中に配布します。

〔事務局〕
　素案について説明します。
　前回の計画書の違いを分かりやすくするために、変更してある部分を赤字に、南砺市らしさを表した部分にアンダーラインをつけてあります。
　表紙については、食育の基本は家庭から始まるということで、家庭をイメージしたイラストを入れたいと考えています。
　目次については、見やすくするため。行間をあけました。１ページ目は、市長のあいさつ文と写真をいれる予定になっています。
「第１章　策定にあったって」では「１　計画の趣旨」に委員の意見を取り入れ、「３計画時期」に図２を追加しました。
「第２章　現状と課題」には南砺市の特徴として高血圧、糖尿病、飲酒率の現状を追加しました。文章中の図の配置の変更をしました。
　資料として、「南砺市健康づくりに関する意識調査」や「南砺市民健康プラン」などを参考にしています。
「第３章　食育推進の方向」では、基本目標について意見を取り入れ、変更しました。

〔事務局〕
　基本目標については、「農業の振興」を「安心安全な食の生産」に変更して、記載の順番も３番目にしました。

〔委員〕
　安心安全の説明の中で、「減農薬・有機など」とありますが「有機栽培」に変更したらいいと思います。

〔事務局〕
　変更します。１０ページの「目標数字の設定」も、委員の意見・情報を反映しました。

〔委員長〕
　第１から第３章までのご意見、ご質問はありますか。

〔委員〕
　表紙のイラストの食事は洋食になっていますが、和食が良いと思います。

〔事務局〕
　絵については、食育推進計画として適切なものを、再度選びます。

〔委員〕
　南砺市のマスコットキャラクターの家族を利用してはどうでしょうか。

〔委員長〕
　表紙については、温かい家庭、南砺市らしいものにしてください。

〔委員〕
　４ページの現状と課題について、日本全体の話と南砺市の話を区別して書くと良いと思います。

〔事務局〕
　南砺市の部分は、区切るなど、修正したいと思います。

〔副委員長〕
　１０ページの目標数値について、「メタボリックシンドロームの減少」について追加してください。
　歯に関する部分が多くありますので、項目を検討ください。

〔事務局〕
　項目の内容について調整します。

〔委員〕
　子供の食育について考えるために、目標数値の「朝食をたべない」という項目に６歳以下が入っていないので、１歳６ヶ月検診と３歳６ヶ月検診の数字も一緒に出していただけると分かりやすいと思います。

〔委員〕
　自分で、中学生２００人を対象にアンケートをとりました。１６０人分回収し、集計したところ、９２．５％が朝食を食べている。ほとんど食べてないのは、２．５％でした。
　メニューを聞いたところ、ヨーグルトだけ食べたとか、ジュースだけ飲んだ生徒も「朝食を食べている。」に丸をつけている人がいます。「朝食を食べない」の現状値のアンケートのとり方、内容を知りたい。アンケートのとり方によっては、数値が大きく変わるかと思います。

〔委員〕
　目標数値の項目として設定している「とやまゲンキッズ作戦」の「朝食をたべていない」という項目は　「はい」　「だいたい」　「いいえ」のデータ結果をだしています。各学校では、朝食のアンケートを別にやっています。例えば､「朝食で食べてきたものを絵で書きましょう」というのを先日行いました。

〔委員〕
　家族と一緒に食べているという子の現状値が、中学２年生９８．６％、小学校５年生９９．５％と高いと思います。
　アンケートのとりかたによっては、率が低くなるのではないかと思います。食育を推進するにあたり、食事内容や、家族で食卓を囲む回数等も盛り込んでいただきたい。

〔委員〕
　「とやまゲンキッズ作戦」は富山県一斉にアンケートをとっています。他の市町村との比較しやすいものとして設定してあると思います。

〔委員〕
　朝食を食べるという事実より、食事内容について検討が必要かもしれません。
　目標数値の設定としていれるのは難しいと思われます。

〔委員〕
　県や国の数字と比較できるものを入れると良いと思います。数値の比較として県の数字や国の数字も記入してあれば良いと思います。

〔事務局〕
　県の数字と比較できるよう、備考欄に記入することも検討したい。

〔委員〕
　１歳６ヶ月検診と３歳６ヶ月検診において、朝食をたべていない子どもが１歳６ヶ月児で２．９％、３歳６ヶ月児で６％もいます。この現状を食育計画に入れていただきたいと思います。

〔委員〕
　食事内容のアンケートを実施することも有効だと思いました。

〔事務局〕
　資料をいただき、入れたいと思います。

〔委員〕
　１１ページの基本目標で「担い手による経営面積や認定農業者数」については、食育には関係ないと思うのですが、いかがでしょうか。
　それよりも、南砺市ならではの「なんとの農産物ブランド品の認証数」等を「安心安全な食の生産」の指標としていただきたい。

〔委員〕
　担い手と認定農業者は食育に関係ないので指標からはずしたらよいと思いいます。エコファーマーは指標として入れても良いと思います。

〔委員〕
　南砺市直売所数及び加工所数について別項目として標記してください。

〔事務局〕
　ご指摘のとおりとさせていただきます。

〔委員〕
　７ページの学校給食について、「学校・事業者及び行政が連携し」の部分の内容を膨らませたらどうでしょうか。

〔委員〕
　学校だけではなく保育園、病院施設も追加してください。

〔事務局〕
　わかりました。

〔委員長〕
　９ページの体系図について議論します。
〔委員〕
　全組織が互いに関連しているので、ひとつの円になればいいと思います。

〔委員〕
　地域・行政の欄に「行政から情報提供」を入れてください。ソーシャルキャピタルについては、２度説明がありますので、１つにしたらいいと思います。

〔委員〕
　教育機関の欄に「食に関する指導」を入れていただきたい。

〔事務局〕
　わかりました。

〔委員長〕
　第４章について事務局から説明をいただきまして、ご意見をいただきたいとも思います。

〔事務局〕
（１－１　から　　１－５　の説明）

〔委員長〕
　子ども食育の部分　Ｐ１２から１９でご意見いただきたいと思います。

〔委員〕
　南砺市には産婦人科がなく、マタニティを対象とした教室も、前期と後期しかなかったと思います。もう少し妊婦さんが安心できる環境にしてほしい。妊娠期からの食事が産後の母乳の元となるので、もう少しめざす姿に取り入れてほしいと思います。
　食育の案内を市からスマートホンを通して情報を発信たり、facebook やホームページも整えてもらったらいいと思います。
「よみがえりのレシピ」という南砺市主催の映画上映会にいってきたときに、小学生が、種から野菜を育て、次の学年に種を引き継ぐというものがありました。作物が生き物だという意識が生まれると思います。。
　五箇山かぼちゃや赤かぶを育てる等、南砺市らしい食育の中に盛り込むと良いと思いました。

〔委員長〕
　出産前からの指導等女性ならではのご意見でした。
　農政課だけでは取り組めない、市全体で取り組むべきものあると思います。

〔事務局〕
　農業体験では、農法など、農政課と教育委員会で連携が出来るのではと思います。在来作物については、今後調査することで計画書に記述します。

〔委員〕
　農業体験についてですが、井波地域で、「南砺市といえば、何が思い浮かびますか。」と訪ねたところ、里芋１１１人　五箇山が１１人と回答がありました。
　井波は小学校の時に、大豆から枝豆を作っていたのですが、興味を持っている特産里芋を勉強させてほしい。
　アンケートをとり、子供が関心をもつような農業をさせたらどうかと思います。
　子供の食育とありますが、高校生はどこに入るのでしょうか。
　ハートフルランチでは、中学校にも市長さんが来てほしいと思います。

〔副委員長〕
　１２ページめざす姿に、「南砺市には産婦人科がない」とあるが、「分娩の機関がない」と記述してほしい。
　乳児期の母乳育児の推進、母子保健推進もしているので、ぜひその点も盛り込んでいただきたいと思います。
　栄養教諭の活躍場面を出してほしい。用語説明にも載せていただきたいと思います。

〔委員長〕
　栄養教諭は市に２名います。学校栄養職員は５名います。

〔委員〕
　これまでの事例というのはそれぞれ掲載しているのですが、実際は平成２７年度から、南砺市食育推進計画がスタートすることになります。総合計画に基づいた食育に関する事業を提出していただきたいと思います。例えば、保育園と農業者との提携や、ハートフルランチも年に１回ではなく、回数を増やす等、次の事を考えていると言うことを盛り込んでいきたいと思います。

〔委員長〕
　推進計画なので、これからの事をどうするか、ということを膨らましていければと思います。

〔委員〕
　妊娠する前、娘さん時代が一番大事です。
　お薬を服薬し、赤ちゃんに母乳をあたえる事が出来ない方や、不妊治療中の方等いろいろな方がいます。母乳が完全栄養ということで、保健センターも母乳を推進しているが、事情であげれない方もいるので、妊娠期から関心をもって生まれた子どもが一人立ち出来るよう切れ目のない支援の対策を、この中にも入れていけば良いと思います。

〔委員〕
　参考文献は文科省か厚労省のものを利用していただきたい。

〔事務局〕
　わかりました。

〔委員長〕
　「生涯にわたる心身の健康」、「安心安全な食の生産」について意見はありませんか。

〔副委員長〕
　３０ページの食の安全性のところは、厚生センターの活動も載せてほしい。「安全を語る会」を写真付きで掲載してほしいと思います。
　３３ページ、食育関係の事業所に指導等行っていますが、地域において、学校も含めた衛生教育などの普及啓発活動を掲載していただければと思います。

〔事務局〕
　承知しました。

〔委員〕
　１９ページの家庭の役割（保護者）についてＰＴＡによる朝食づくり講習会がありました。現代の母親は共働きで、子どもの塾やスポーツクラブの送迎などで忙しい。子どものためにおいしいご飯を作ってあげたいので、ぜひＰＴＡのほうで、参加しやすい講習会をしていただきたい。
　ネットやメール等情報社会を活用したり、簡単なレシピをスーパーや学校に設置したり、お弁当に悩む高校生を持つお母さんに、簡単なお弁当というレシ

ピの紹介。「なんとうまいもん」クリアファイルを家族みんながみれるような、例えば南砺市のカレンダーとして配布し、南砺市の特産物や郷土料理レシピを入れれば良いと思います。

〔委員長〕
　ＰＴＡによる試食会に多くの方が参加していただけるよう、ヒントになるようなものをここに掲載するのもひとつの方法かと思います。
　「３　安心安全な食の生産」についてご意見はありますか。

〔委員〕
　２７ページについて、生産者と消費者との交流については、誰が主導するのかわかりにくい。行政であればどこの課が担当であるのか。使う方と作る方の調整役を強化するだけではなく、具体的に世話役を明記してほしいと思います。

〔事務局〕
　できる範囲で具体的に記述を膨らましたいと思います。

〔副委員長〕
　肝心な「食育の日」についての普及啓発がありませんので掲載願います。

〔委員〕
　食育の日は６月１９日で他に毎月１９日にも行っています。

〔委員〕
「なんとサンキューデー」もやっています。南砺産の食材を使用した給食。

〔委員〕
　保育園では、調理員がさつまいもやいとこ煮などを題材とした話を、食育の日として１９日の前後に行っています。

〔委員〕
　食生活改善推進協議会でも食育の日について書かれたポケットティッシュを講習会などで配布しＰＲしています。

〔委員〕
　Ｐ１６「なんとハートフルランチ　学校週間」で、地場産食材を活用した「地域の枠を超えた食材の利用」の表記をしたいと思います。

〔委員〕
　厚生センターが、栄養表示を指導している事例もありますのでそちらも掲載願います。

〔事務局〕
　各ご意見を取り入れます。

〔委員長〕
　第４章の　３４から３８ページまで、ご意見があればお願いします。
　写真についても全体的に何をアピールしたら良いのかというのがわかるようにしていただきたい。

〔副委員長〕
　３４ページ「南砺市の伝統食」について、事例など代表的なものをどんどん出してほしいと思います。南砺市には沢山あるので、鮮やかな写真をどんどん出してほしい。

〔委員〕
　「世界遺産家屋で世界遺産の和食を食す」は必要でしょうか。

〔委員〕
　文章がわかりくにいので、具体的に書いてください。

〔副委員長〕
　逆に載せてもらいたいです。

〔事務局〕
　和食が世界遺産に選ばれ、五箇山の世界遺産登録２０周年の年です。歴史について食を通して感じてもらう、ということで具体的にアクションをおこせばいいと思います。言葉を分かりやすく表現し直します。

〔委員〕
　世界遺産のような風土があり、こういった形があるので、食を伝承する、伝統食という意味では、材料名や作り方について、子どもたちに伝えていきた思います。

〔委員〕
　エコビレッジ構想について、小・中学校で残渣などを堆肥にしているので、

それを南砺市全体で使ってもらえないか。南砺市としては推奨しているみたいだが、いろんな団体に普及したらどうかと思います。

〔事務局〕
　担当課に確認します。

〔委員長〕
　第５章　４５ページについて意見はありますか。用語解説も含めてご意見をいただきたい。

〔委員〕
　推進会議の設置をするのか、しないのかといったことを決めていただきたい。
　作った計画をどう推進するのか、進捗管理を確認する体制づくりをしようということです。

〔委員長〕
　「食育推進会議」を設置するということで了解願いたいと思います。

〔事務局〕
　委員名簿、幹事会メンバーも掲載したいと思います。

〔委員〕
　評価の仕方としては数値目標が一番ということなのでしょうか。

〔事務局〕
　基本的には指標はひとつの目安となると思います。

〔事務局〕
　数値ではわからない項目もありますので、それぞれの項目において、途中経過のチェックを入れていければと思います。

（２）今後のスケジュールについて
〔事務局〕
　委員会は当初３回の予定でしたが、皆様からのご意見が多いということ、資料集めも含め、年内にもう一度委員会開催をしたいと思います。案としては、１２月１６日に第３回委員会を行いたいと思います。
　パブリックコメントの時期がずれまして１月中旬から２０日間、２月中旬

に第４回委員会となり、３月中旬に公表ということにしたいと思います。
計画内容については、来年の４月１日より実施したいと思います。

〔委員長〕
当初なかった第４回委員会を設けたいという事務局からのお願いでありました。

（３）その他
〔事務局〕
意見書を１０月３０日までに提出してください。
今回は、語句の変更と追加のみとさせていただきます。

４．閉会
〔副委員長〕
活発な議論ありがとうございました。大変良い計画が出来つつあります。
南砺市で実際に行っているものを写真つきで掲載するのがよいと思いますので、よろしくお願いいたします。

〔委員長〕
本日は長時間ありがとうございました。

以上